資料 8-2

令和８年１０月１６日
都市整備部地下鉄８号線沿線まちづくり担当

本地区の目指す姿（全体目標・基本方針）

本地区の目指す姿「全体目標」

安心を感じながら、公園や水辺とともに人々のつながりと活動を育むまち

公園や水辺、歴史、文化など、まちに点在する資源を活かしながら、「守るもの」「育むもの」を大切にしたまちづくりを進め、人々のつながりと、活動が活発に行われる住みよいまちを実現していきます。

守るもの

“安心で落ち着きのある居住環境”
これらを将来に向け維持し、誰もが暮らし続けたいと思えるまちを目指します。

育むもの

“猿江恩賜公園と水辺を活かした活動”
住吉を訪れたいと思える人が増えるような、魅力にあふれるまちを目指します。

“人々のつながりやコミュニティの場”
こどもからお年寄りまでいきいき過ごせるまちを目指します。

本地区の目指す姿「基本方針」

安全・安心　暮らす人も、訪れる人も、誰もが安全・安心を実感して過ごせるまちづくり

地域が主体となって日ごろから避難訓練や見守り活動などに取り組み、水害や地震などの災害対策や良好な治安を守る防犯対策を進めることで、誰もが安心を実感して暮らせるまちを目指します。

暮らし・憩い　落ち着いた居住環境が、暮らしのゆとりと健やかな成長を育むまちづくり

静かで落ち着いた居住環境を保ちつつ、こどもプラザ等の施設の活用や核となる医療機関との連携などにより、こどもの健やかな成長をはじめ、人々がゆとりを持って暮らせるまちを目指します。

水辺・環境　みどりや水辺とともに、うるおいを感じ豊かに過ごせるまちづくり

猿江恩賜公園や水辺を、自然や生物多様性が感じられる空間として保全するとともに、人々の活動・交流やまちの回遊性を高める資源として積極的に活用し、心豊かに過ごせるまちを目指します。

交流・にぎわい　活発なコミュニティが、つながりとにぎわいをもたらすまちづくり

人々の支え合いが地域行事の伝承や担い手の確保をもたらし、猿江神社や扇橋閘門などの資源を活かしながら、地区内外の新たなつながりや商店街のにぎわいを生み出すなど、満足度高く過ごせるまちを目指します。

交通・つながり　隣接地域や3路線のまちともつながり、安全で快適に移動できるまちづくり

駅周辺のバリアフリー化の推進や安全で快適な移動環境を構築するとともに、地下鉄８号線の延伸により、３路線を利用して都心や臨海部など各方面へのアクセスが向上する強みを活かし、交通利便性の高いまちを目指します。

ゾーン等区分設定とゾーン等の個別目標・取組アイデアの例

※1　コミュニティ核・コミュニティネットワークは、ベースとなる各ゾーンに重ねて設定したものです。

複合市街地ゾーン

～住と職が共存し、安心で穏やかな暮らしが営める市街地～

■個別目標

静穏な住環境と点在する新旧の魅力を将来に向け維持し、事業所との共存を図るとともに、災害に対応した安全・安心な市街地を形成する。

■取組アイデアの例

- 住環境の維持とまちの安全性向上のためのルールづくり
- まちの雰囲気や活力の維持・向上を目指した事業の継続や店舗の誘導
- 細街路の拡幅や歩道の改良による安全・安心な歩行空間の確保

コミュニティ核※1　コミュニティネットワーク

～活動の中心となるコミュニティの骨格～

■個別目標

公園、店舗、こどもの居場所、イベントスペースなど日常的に集う活動スポットとして、暮らしを支え、人々の結びつきを生み出す核と、にぎわいを感じながら安心してまちを回遊できるネットワークを形成する。

■取組アイデアの例

- 猿江恩賜公園や河川、扇橋閘門、猿江神社、商店街などの資源を活かした、イベントやアクティビティ※2の継続的な実施と情報発信
- 新たな出店にチャレンジしやすい機会づくり
- 公共空間を最大限に活用するとともに、まちなかへのベンチの設置や店舗の充実を図り、にぎわいと回遊性を高める空間づくり
- こどもプラザや公園などを活用した、こどもの居場所づくり

水辺交流ゾーン

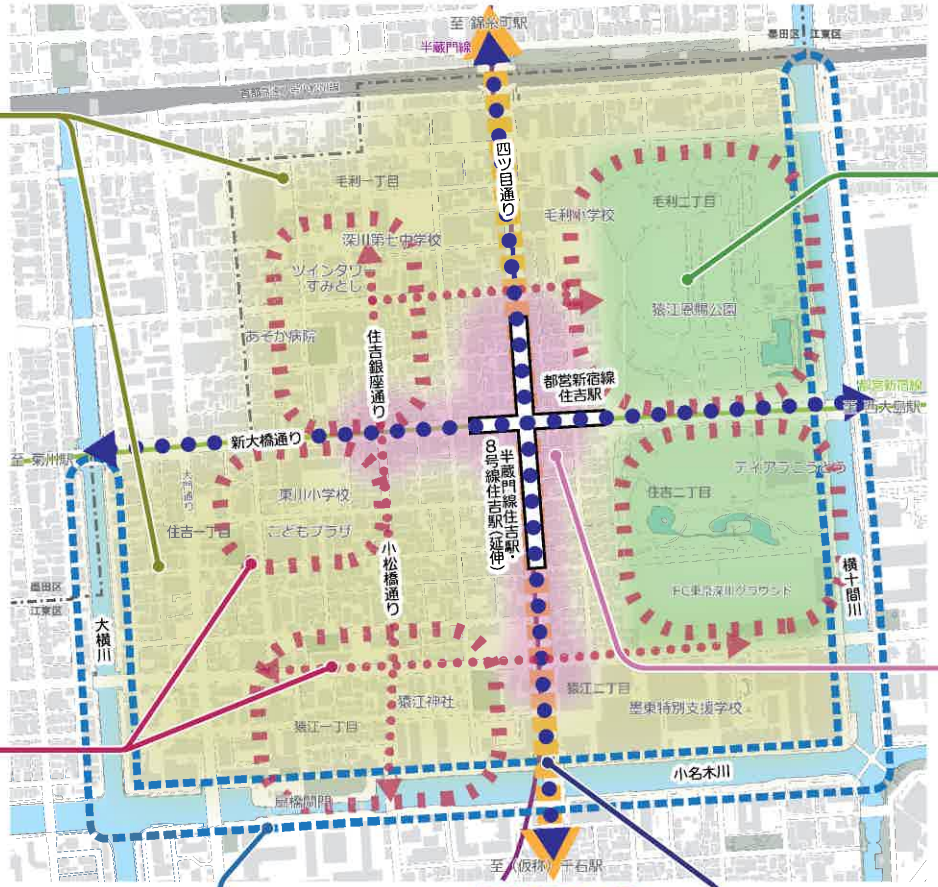
～くつろぎと交流を生み出す親水空間～

■個別目標

川沿いの回遊性と快適性を高め、水辺環境を活かしたくつろぎの空間形成を進めるとともに、交流を促す。

■取組アイデアの例

- 水辺の植物や桜の管理など、生態系を支える河川環境の保全
- バリアフリー化やベンチの設置など、安全でくつろげる空間づくり



※2　アクティビティ
スポーツやものづくりなど、目的をもって行う体験活動

都市計画マスタープランにおける南北都市軸

みどり活用ゾーン

～まちが誇る豊かなみどりが、活動と憩いをいざなうステージ～

■個別目標

広大なオープンスペースを最大限に活用し、「環境・生物多様性」、「コミュニティ形成」、「防災・減災」、「歴史・文化」など、各機能がまちとつながり、多様なニーズに応えながら進化し続けるみどり空間を実現する。

■取組アイデアの例

- 植栽や池を楽しく手入れしながら、四季を感じ、生物がすみやすい環境づくり
- ボール遊び、飲食、人々の交流、防災など、多様な活動を想定した施設や設備の導入
- ティアラこうとうや日本庭園などの公園資源を、人々が集い、憩える空間として活用
- まちと横十間川に開かれ、猿江恩賜公園が身近に感じられる空間づくり

駅近傍ゾーン

～交通・交流が行き交うまちの玄関口～

■個別目標

まち全体をつなぐことで交通の利便性を高めるとともに、人々が行き交い滞在できる快適な環境の整備により交流を促進する。また、防災機能を強化して安全性を高める。

■取組アイデアの例

- ユニバーサルデザインに配慮した駅や駅周辺空間の整備
- 店舗の導入やコミュニティサイクル等の設置などによる駅前機能の拡充
- 水害等に備えた協力体制づくりや建物の整備促進
- 地域行事や店舗案内など、まちの様子がわかるサービス（SNS等による情報発信）の導入

南北・東西交通軸

～広域的にまちをつなぐ大通り～

■個別目標

地区内の各ゾーンや、隣接地域を含む広域を結ぶ主軸として、安全で快適な道路空間を整備する。

■取組アイデアの例

- 歩道の拡幅や無電柱化、バリアフリー化などによる、安全で快適な道路空間の整備
- 沿道の建物更新を通じた、主軸として相応しいまちなみづくり